



一般会計 当初予算額 252億4500万円 (前年度比4.5%)

引き続き「第2期 まち・ひと・しごと創生総合戦略」の各種施策に取り組むとともに、重要テーマである「ふれあいと笑顔あふれる街づくり」をさらに推進

	令和6年度	令和5年度	伸び率
一般会計 (A)	252億4,500万0千円	241億6,400万0千円	4.5%
特別会計 (B)	74億4,173万3千円	73億7,629万4千円	0.9%
合 計 (A+B)	326億8,673万3千円	315億4,029万4千円	3.6%

●一般会計の特徴と総額の増減要因

○ 人口減少対策並びに地方創生を目指す「第2期 まち・ひと・しごと創生総合戦略」
120事業 予算額 約30億175万円

○ 主なハード事業

島原温水プール整備事業、島原自転車道線整備事業、水産物供給基盤機能保全事業

○ 主なソフト事業

島原城築城400年記念事業、名水サミット、火山砂防フォーラム

「おいしくいただきます」子育て応援学校給食費支援事業

お風呂とたしろ号共通利用券助成事業

島原市高校・地域連携イキイキ活性化事業、島原市産品振興による地域活性化事業

事業別増減要因

【増加要因】 親和町湊広場線整備事業(約2億8,807万円増)
島原温水プール整備経費(約2億8,647万円増)
塵芥収集処理事業費(約1億3,716万円増)
児童措置費(約1億1,655万円増)
障害者自立支援給付費(約1億1,382万円増)

【減少要因】 安徳新山線整備事業費(約2億5,121万円減)
無電柱化推進事業費(約2億1,160万円減)
地域情報化関係経費(8,204万円皆減)

● 歳入歳出予算の概要

	主な費目等	予算額	前年度比較	増減の要因
歳入	地方交付税	約67億5,000万円	3億円増	需要額（公債費など）の増に伴う普通交付税の増額等
	県支出金	約24億3,169万円	約2億7,388万円増	農業経営高度化支援事業補助金や長崎県農業水利施設ストックマネジメント事業補助金、浄化槽設置整備事業費補助金の増額等
	市債	約15億9,730万円	約2億4,750万円増	光回線整備事業費の減額、島原温水プール整備経費及び農業用施設整備事業費の増額等
歳出	補助費等	約32億1,043万円	約4億1,999万円増	県央県南広域環境組合運営費負担金、プレミアム付商品券発行事業補助金、島原城築城400年記念事業実行委員会補助金の増額等
	扶助費	約66億9,083万円	約2億1,028万円増	子どものための教育・保育給付費、障害児通所給付費、自立支援訓練等給付費の増額等
	投資的経費	約26億991万円	約1億7,735万円増	安徳新山線整備事業費の減額、島原温水プール整備経費及び新和町湊広場線整備事業費の増額等

● 主な事業

◎は新規事業

コミュニティバス運行事業	6,636万円
ロケツーリズム推進事業	734万円
自治体DX推進経費	751万円
◎ 書かない窓口導入事業	180万円
ふるさと納税関係経費	4億9,720万円
お風呂とたしろ号共通利用券助成事業	1,170万円
福祉医療費給付費（乳幼児、こども等）	1億4,062万円
◎ 名水サミット開催経費	416万円
地域再エネ導入事業	130万円
水産物供給基盤機能保全事業	9,000万円
◎ 島原市高校・地域連携イキイキ活性化事業	441万円
島原城築城400年記念事業	8,000万円
◎ 島原市産品振興による地域活性化事業	1,100万円
◎ 火山砂防フォーラム開催経費	250万円
堀町縦線整備事業	1億7,803万円
島原自転車道線整備事業	2億1,008万円
親和町湊広場線整備事業	3億2,734万円
安徳新山線整備事業	1億1,895万円
浄化槽設置整備事業	4億4,984万円
◎ 防災行政無線施設整備事業	4,229万円
子育て応援新入学児童通学用かばん支給事業	541万円
小・中学校ICT推進事業	6,268万円
◎ 島原城跡三ノ丸御殿保存活用事業	679万円
全国高等学校総合体育大会事業	2,187万円
島原温水プール整備事業	2億8,798万円
「おいしくいただきます」子育て応援 学校給食費支援事業補助金	2,800万円